

葛飾特集

葛飾地区理大祭

今年の目玉イベントは？

電撃取材

突撃取材

KARF委員長に聞いた 葛飾地区理大祭

KARFは総務局と広報局、企画局の3つの局に分かれています。総務局は内部の総括や出店希望団体の把握を行い、広報局は協賛集めやパンフレットの制作などを行っている。また、企

画局はサイエンス夢工房やクイズ大会などの企画を準備を進めている。ど

結果を残した。清水さんは今年目標として、学生を多く呼び込むことを挙げた。これまでに積み上げてきた地域との繋がりを生か

を務める清水直貴さん(T E科3年)に話を聞いた。

昨年葛飾地区理大祭は地域との連携を目指していた。プロジェクトメンバーは、ピンギンなどの企画により、一般客の動員はとも良い結果を残した。清水さんは今年目標として、学生を多く呼び込むことを挙げた。これまでに積み上げてきた地域との繋がりを生か



▶昨年の葛飾地区理大祭の様子。KARF提供

理大祭当日、理科大は「理科大」でなくなる。そこには、足早に商店街を通り過ぎる学生はいない。レポートに追われる学生もいない。キャンパス正面のスロープを上がれば、昨日までの「理科大」は、祭一色に染まっている。

講義棟と研究棟の間に軒を連ねるのは、サークル団体や研究室の学生や教員のブースである。葛飾地区理大祭実行委員会(KARF)委員らの声かけもあって、例年より多

くの出店が見込まれている。「理科大」のキャンパスとは異なった表情を見せてくれるだろう。

そして2日目の午後、管理棟前の中庭広場で行われるのは江頭2・50さんによるトークショーである。多くの学生を引きつけるそのパワーに、KARF委員長の清水さんは期待を寄せる。開始時刻は午後2時50分ではなく午後2時なので、注意が必要だ。

さらに今年度、多くの新

入会員に恵まれたKARFは企画の幅を広げようとしている。「今年度の会員は90人。一人一人が責任を持ち、大学外部との連絡も含めて準備を行っています」と清水さんは語った。

人気のあつた「サイエンス夢工房」や「フリーマーケット」に加え、教室を別世界に変えてしまおうという「脱出ゲーム」、葛飾地区理大祭の新しい「キャラコン」、そして理科大で一番教養ある者を選抜するクイズ大会「理科大王」といった新企画が予定されている。

地域密着型の良さをそのままに、葛飾地区理大祭が「学生の集まる学園祭」として成功を収めることができるのか。新企画がその鍵を握っている。

金町グルメ 麵や月星

9月22日、葛飾キャンパスと金町駅をつなぐ理科大通りに「麵や月星」が開店した。開店直後の2日間はキャンペーンも行っており、本学からも多くの学生が訪れた。注目を集める麵や月星の店長鈴木賢さんに今回インタビューを行った。

麵や月星は以前JR金町駅の南口、京成金町駅の近くに店舗を構えていた。6年前に開店し、鈴



▲店長おすすめの「肉つけ麺」

つけ麺は790円、学生は学生証提示で100円の割引がされる。

鈴木さんの一番の情熱は安くておいしいものを作ることだ。高い金額を払っておいしいものを食べることは簡単である。お手頃な値段で、より多くの人に

木さんにとっては初めてのラーメン屋の経営であった。葛飾キャンパス完成後は学生からも愛され、駅前区画整理をきっかけに、大学により近い現在の店舗へ移転した。

麵や月星はお手頃な価格で美味しいメニューを提供する。鈴木さんのおすすめはつけ麺と油そばだ。看板メニューでもあるつけ麺には、通常のつけ麺と肉つけ麺、辛つけ麺の3種類がある。

理科大生限定
限定クーポン
麵や月星
味玉
1個無料
11/30まで

葛飾地区理大祭参加団体
アカペラサークルちゅむ
chum

普段の活動と理大祭についてインタビュー!

chumは、約110人で活動するアカペラサークルである。理大祭当日には4〜7名のバンドに分かれ、教室や中庭広場でライブを行う予定だ。昨年は地域住民を中心に、大教室に100人以上が集まった。教室の周囲まで歌声が響き、ふらっと訪れる人も多かったという。

「皆、歌を楽しみたいと



▲過去の図書館ホールでのライブの様子 = chum 提供

「皆、歌を楽しみたいと」

マッピングを挙げた。また、資金繰りや町の人の作業負担の仕方などで問題が浮上り大変だったと、数々の困難を乗り越えて完成する葛飾地区理大祭に期待したい。

「皆、歌を楽しみたいと」

「皆、歌を楽しみたいと」

訪れる。金町駅前団地の広場でもライブを行うchumは地域住民からも人気が高いのだ。大学側からも地域貢献を高く評価され、部室の使用も許可されている。

chumの練習場所は体育館の視聴覚室、防音室、部室などさまざまである。長期休暇中や日曜日は教室も利用する。サークル員一人で行くつかのバンドを掛け持ちし、理大祭当日は何度も出演する人もいます。

「楽しんで歌いたい、皆で歌いたい」そんな思いで活動するアカペラサークルchum。その歌声は、来場する人々も楽しませてくれることだろう。

ご存じでしたか？ 『目盛線を数える必要が無く、目盛値を直感的に判読出来る』 23&78[®]目盛

当工房では、このような新たな目盛の開発を行っています。応用範囲はメスシリンダー、定規、三角スケール、工作機械目盛環、シリンジ、丸形温度計、操作パネルなど広範囲。現在それぞれの商品化を検討しています。

川島工房 北海道余市郡赤井川村字赤井川191-1
kawashimakobo2013@docomo.ne.jp PAT. P

*目盛線の切欠きで液面も視認しやすい。